

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域との交流が少なく、同じ地域に住むホームとして、共生ホームへの理解信頼を深めていくにはどうしたら良いか。	地域行事へ参加し、地域の抱える問題への協力を行ない、情報を共有する。	地域行事が行なわれる日にちを、行政センターや回覧板等を通し情報を得ていく。	6ヶ月
2	21	利用者様同士のコミュニケーションが特定の利用者様に限られているため、もっと深めていけないだろうか。	共生ホームあかり内での行事・レクリエーションを通し利用者様同士がコミュニケーションを図る機会や環境を作る。	施設内で行なわれるレクリエーションを見直し、月に1度以上の全体行事を行ない、利用者様に共通した思い出作りを行なう。	6ヶ月
3	35	災害対策の協力体制を地域の方々と一緒に行ない、意識を高めていく事が必要ではないか。	地域の方々に避難訓練への参加の相談を行ない、災害時の連携が円滑に行なえる様取り組む。	近隣の方々に避難訓練の告知を行なうと共に、企画内容(消火器の使用等)を説明し、関心・興味を持ち、共に訓練が行なえる状況・環境を作る。	6ヶ月
4	49	施設内の活動だけでなく、施設外での活動により、利用者様の維持・向上が図れないだろうか。	外的刺激を行なう事により、季節感を感じ、認知症の進行速度の低下、日常生活動作能力の維持・向上を図る。	利用者様の体調を見ながら、利用者様へ戸外への興味が持てる様話しを行ない、外出をする。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。